

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 ウッドワン

上場取引所 東

コード番号 7898 URL <https://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野口 貴博

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	49,411	1.5	507		724		1,408	
2023年3月期第3四半期	50,187	2.7	1,132	33.8	685	49.4	350	53.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,202百万円 (31.6%) 2023年3月期第3四半期 913百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	151.32	
2023年3月期第3四半期	37.57	37.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	100,386	45,347	44.1
2023年3月期	97,018	44,404	44.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 44,292百万円 2023年3月期 43,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		12.00		12.00	24.00
2024年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	1.3	1,300		1,600		2,300		247.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,841,969 株	2023年3月期	9,841,969 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	532,429 株	2023年3月期	532,030 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,309,774 株	2023年3月期3Q	9,337,737 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や設備投資の持ち直し、インバウンド需要の回復などで、景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高止まりや物価上昇、不透明感が続くロシア・ウクライナ情勢や中東情勢などの懸念材料も依然、存在しています。引き続き国際情勢や為替の変動、エネルギー価格などがわが国経済に与える影響に注意が必要な状況となっています。

住宅業界においては、当社グループの主力販売市場である日本国内の持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数は、2022年1月以降、前年を下回る水準で推移しています。また、海外子会社の主要販売市場であるニュージーランドや欧州などでの住宅関連の需要も、各国における金融引き締め政策の長期化による影響で低調に推移しています。

欧米や中国での木材需給の急激な逼迫に端を発した木材・木製品の供給不足や価格高騰については、需給逼迫のピークは過ぎ、木材価格は下落傾向となっているものの、副資材や電力費、燃料費等、さまざまなコストの上昇や高止まりが続いています。

当社グループはこのような事業環境のもと、無垢商品や省施工商品といった付加価値が高い商品を核とした内装建材等の拡販に注力するとともに、脱新築戸建依存に向けて国内のリフォーム・非住宅市場や海外市場といった新たな市場のさらなる開拓を進めています。また、デジタル技術などを活用した労働生産性の向上や経費削減への継続的な取り組みに加え、生産企画・設計工程ならびに製造ラインにおけるデータ利活用の高度化や、営業部門の業務プロセス改革による効率化と顧客サービスレベルのさらなる向上を目指したDX推進プロジェクトに取り組んでいます。さらに、サプライチェーン全体における持続可能な共存共栄関係の構築を目指し、「パートナーシップ構築宣言」を策定・公表（8月）しました。「持続可能な社会の実現」という世界的な課題に対しては、「人権方針」、「サステナビリティ調達方針」及び「サステナビリティ調達ガイドライン」を制定し、当社ウェブサイトにて公表（9月）。2023年11月には「ウッドワン サステナビリティレポート2023」を公開、当社のマテリアリティ（重要課題）に対する考え方、具体的な対応事例を掲載し、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーションに努めています。

国内販売については、「商品にサービスを加えて提供する建材サービス業」を目指し、省施工商品や無垢商品など、お客様にとって付加価値のある商品の拡販に取り組み、取引店数のさらなる拡大を進めています。また、昨今の急激な原材料不足の拡大、原材料価格の高騰等、度重なる資材調達コストの上昇に対応して、生産性向上によるコストダウンやサプライチェーンの強化に加え、適正な収益確保を行うべく床材・造作材等の販売価格の改定に継続的に取り組んでいます。

商品開発については、調湿機能、やすらぎ効果、経年美化、断熱効果、衝撃吸収性といった無垢材の特長を生かした無垢商品や、サイズ・カラーが豊富で組み合わせ自由な収納商品、職人不足など建築現場での課題に対応した省施工商品、安全・安心な素材を使いあざやかな色彩や豊富なデザインを揃えた幼保施設向け商品といった付加価値のある新商品の開発に取り組んでいます。

リフォーム・非住宅市場については、開発営業部、構造システム営業部といった各専担部署がショールームでのキャンペーンや展示会への出展、オンラインセミナーや現場見学会なども活用し、脱炭素社会への取り組みや中大規模の建物を木造で建築した事例の紹介などを通じて、リフォーム・非住宅の新規物件や内装材案件の獲得に取り組んでいます。また、商環境開発部では非住宅市場への販売強化に向け、環境付加価値をもつニュージーパイン®に特殊塗装を施した独創性の高い商品・サービスを提案の主軸に据え、設計事務所からの獲得案件数の拡大に取り組んでいます。

海外事業については、ニュージーランド子会社では、当社グループ向けの生産数量を確保した上で、原木や木製品などをニュージーランド国内市場などへ販売しています。また、インドネシア子会社では、欧米市場向けやインドネシア国内市場の販路開拓を続け、拡販に努めています。

こうした状況の中、日本国内での販売価格の改定による売上面・利益面での効果はあったものの、海外子会社を含め、国内外の住宅需要の低下による販売・生産数量の減少、円安やインフレの進行によるコストアップも進み、前年同期に比べ売上高や利益面で低調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、49,411百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失は507百万円（前年同期は営業利益1,132百万円）、経常損失は724百万円（前年同期は経常利益685百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,408百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益350百万円）となりました。なお、特別損失は主にニュージーランド子会社の事業再編に伴い、将来使用見込みがない資産の減損および人員整理費用等を事業再編損として1,480百万円計上しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅建材設備事業

住宅建材設備事業では、デザインだけでなく木の味わいや心地よさにまでこだわった床材カタログ「ウッドワンのながく愉しめる床材～足感フロアダイジェスト～」を発売しました（6月）。また、「無垢No.1の木質総合建材メーカー」にちなみ、6月9日（無垢の日）に当社の公式Instagramアカウントを開設、2018年に開設した「木のある暮らしをもっときままに」をコンセプトにしたInstagramアカウント「Ki-Mama」とともに、当社の商品やイベントなどの情報を随時発信しています。11月には、当社商品を使用してコーディネートされた施工例作品を設計者や施工者から募集してコンテストを行う「ウッドワン空間デザインアワード2023」（第7回）を開催し、ウッドワンプラザ金沢にて入賞作品の表彰式を実施しました。

リフォーム市場については、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた住宅の省エネ・脱炭素を推進するため、国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による補助事業に対応した商品を提案する「住宅省エネ2023キャンペーン」の特設サイトを開設しました（4月）。また、「住宅省エネ2023キャンペーン」の先進的窓リノベ事業に対応する無垢の木の内窓「MOKUサッシ」において、アルゴンガス入りLow-E複層ガラスを発売（6月）し、既存住宅における熱損失が大きい窓の断熱性能を高めることによるエネルギー価格高騰への対応（光熱費負担の軽減）を提案しました。このほか、お客様が理想的なキッチンでAR機能でご自宅に設置したイメージや配置を3Dシミュレーションできるサービス「WOODONE AR Kitchen Simulator」を開始（9月）、リフォーム・リノベーション物件にご提案できる商品を揃えた「リフォーム・リノベーション向けカタログ」を発行（12月）しました。こうした活動の結果、リフォーム向けの売上高は前年同期に比べ増加しました。

非住宅市場については、11月に、幼保施設向けの商品、サービスが集うビジネス商談見本市「保育博2023」へ昨年に続き2度目の出展、幼保施設でも安心して長く使っていただける商品を提案しました。

商品面については、収納商品では「仕上げてる棚板」、省施工商品では「セットオン階段」などの階段商品群や「小壁パネル」が引き続き好調に推移しています。

また、新商品については、7月に材料の選定から仕上げまで一切妥協せず、厳選した3ミリ厚のオーク挽板を贅沢に使用したフローリング「コンビットモノ 挽板3.0 足感フロア」を発売。一般社団法人日本商環境デザイン協会が開催する「PRODUCT OF THE YEAR 2023」で入賞した「ピノアース足感フロア」と同様の感性評価実験を実施し、レーダーチャート（足感チャート）で木が持つぬくもり・足ざわり・心地よさを可視化しています。このほか、ワンルームマンションやリノベーションなどでの設置を想定したコンパクトキッチン「W1200フレームキッチン」（8月）、無垢の木の洗面台に、環境に優しく、水回りでの使用にも対応できる新しい左官素材「オルトレマテリア」で仕上げた「コテナカウンター」（8月）、細やかなカスタムや打合せを必要とせず「このままでいい」キッチン「cono:mamma [コノママ]」（10月）などを発売しています。

海外事業については、ニュージーランド子会社では、原木の販売は堅調に推移しましたが、木製品については、日本国内の住宅需要の低下による当社グループ向け生産数量の減少に加えて、海外市場における住宅関連需要の低下で、グループ外向け売上高が減少するとともに、生産数量の減少による製造コストの増加などで利益面では低調に推移しました。このため、収益改善を目的として同社ギスボン工場を閉鎖し、生産拠点を集約することで生産性向上を通じた競争力の強化を図るとともに、今後の需要に応える生産量の確保を継続してまいります。

また、インドネシア子会社では、主に欧州市場への売上高が大きく減少したため、前年同期に比べ売上高、利益面ともに低調な結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における住宅建材設備事業の売上高は48,642百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失は571百万円（前年同期は営業利益1,032百万円）となりました。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に設置している木質バイオマス発電設備で発電した再エネ電気を、電気事業者にFIT固定価格で全量売電しています。バイオマス燃料需要が増え続ける中、依然燃料代が高止まりしていることや、太陽光発電の急増に伴う電力の需給バランスの調整のために電気事業者から要請された「出力制御」の回数が前年同期に比べ大幅に増加したこともあり、売上高、営業利益ともに減少しました。

木質バイオマス発電において排出されるCO₂は、木が成長する過程で大気から吸収したものであり、大気中のCO₂量の実質的な増加には繋がらない（「カーボンニュートラル」）とされるものです。当社では、森林から直接産出される「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社国内工場やフィリピン子会社などで生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料として、2015年からバイオマス発電事業を行っています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における発電事業の売上高は800百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は63百万円（同36.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結財政状態は、為替の影響もあり、前連結会計年度に比べ資産が3,368百万円増加、負債が2,425百万円増加、純資産が943百万円増加しました。

資産3,368百万円の増加は、流動資産が1,643百万円減少したものの、固定資産が5,011百万円増加したことによるものです。流動資産1,643百万円の減少は、受取手形、売掛金及び契約資産が498百万円増加、その他流動資産が153百万円増加したものの、棚卸資産が1,406百万円減少、現金及び預金が888百万円減少したことによるものです。また、固定資産5,011百万円の増加は、主にニュージーランド子会社の事業再編に伴い、将来使用見込みがない資産の減損をしたものの、同社の立木等の増加、国内グループ子会社フォレストワンの庄原新工場への設備投資等の増加により、有形固定資産が3,502百万円増加（為替影響除きでは412百万円増加）したことによるものです。

負債2,425百万円の増加は、主に国内および海外子会社での設備資金や運転資金の調達等により、借入金が2,682百万円増加（為替影響除きでは1,390百万円増加）したことによるものです。

純資産943百万円の増加は、主に利益剰余金が1,632百万円減少したものの、為替換算調整勘定が1,985百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年1月12日に公表した業績予想を修正しておりません。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,548	3,660
受取手形、売掛金及び契約資産	7,980	8,479
商品及び製品	5,603	5,704
仕掛品	2,087	1,878
原材料及び貯蔵品	8,974	7,675
その他	635	789
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	29,814	28,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,492	8,693
機械装置及び運搬具（純額）	4,624	4,055
土地	16,558	17,219
立木	19,732	21,870
その他（純額）	5,008	7,079
有形固定資産合計	55,416	58,918
無形固定資産	818	802
投資その他の資産	10,968	12,494
固定資産合計	67,203	72,215
資産合計	97,018	100,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,905	3,437
電子記録債務	2,734	2,252
短期借入金	9,702	16,192
未払法人税等	410	190
1年内償還予定の社債	—	3,000
契約負債	493	482
引当金	577	265
その他	2,994	3,562
流動負債合計	20,818	29,383
固定負債		
社債	3,000	—
長期借入金	23,902	20,094
繰延税金負債	371	440
引当金	383	391
退職給付に係る負債	1,024	1,053
その他	3,114	3,674
固定負債合計	31,795	25,655
負債合計	52,613	55,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	23,603	21,971
自己株式	△2,052	△2,052
株主資本合計	36,396	34,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787	1,470
繰延ヘッジ損益	0	16
為替換算調整勘定	5,998	7,983
退職給付に係る調整累計額	49	57
その他の包括利益累計額合計	6,835	9,528
新株予約権	122	87
非支配株主持分	1,049	967
純資産合計	44,404	45,347
負債純資産合計	97,018	100,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	50,187	49,411
売上原価	36,445	37,492
売上総利益	13,741	11,919
販売費及び一般管理費	12,609	12,427
営業利益又は営業損失(△)	1,132	△507
営業外収益		
受取利息	3	19
受取配当金	77	66
受取賃貸料	143	157
為替差益	—	257
排出権収入	130	—
その他	109	68
営業外収益合計	464	569
営業外費用		
支払利息	274	391
売上割引	303	288
為替差損	206	—
その他	127	106
営業外費用合計	911	786
経常利益又は経常損失(△)	685	△724
特別利益		
固定資産売却益	6	0
新株予約権戻入益	22	41
その他	—	0
特別利益合計	28	42
特別損失		
固定資産売却損	—	0
子会社清算損	104	34
事業再編損	—	1,480
その他	19	5
特別損失合計	124	1,519
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	589	△2,202
法人税、住民税及び事業税	327	380
法人税等調整額	△112	△950
法人税等合計	215	△570
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374	△1,632
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	23	△223
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	350	△1,408

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374	△1,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	683
繰延ヘッジ損益	△48	16
為替換算調整勘定	501	2,125
退職給付に係る調整額	17	8
その他の包括利益合計	539	2,834
四半期包括利益	913	1,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847	1,284
非支配株主に係る四半期包括利益	66	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

・借入契約の財務制限条項抵触に関する対応結果について

2024年1月12日付の「業績予想の修正、特別損失及び法人税等調整額(益)の計上、借入契約の財務制限条項抵触見込み、2025年3月期単年度連結損益目標の策定に関するお知らせ」にて開示しましたが、当社が締結しておりますシンジケートローン契約に規定する財務制限条項の「契約締結時以降の各年度の決算期における連結損益計算書に示される営業損益が、損失とならないこと」に抵触する見込みとなり、当該財務制限条項が適用された場合、資金繰りに影響を与えますが、参加金融機関より、期限の利益喪失に関わる条項は適用しない旨の承諾を得ています。

・中華人民共和国の連結子会社の清算

当社の厨房機器部品を製造していた連結子会社である上海倍樂厨業有限公司は、解散および清算に向け、同社が保有する固定資産の売却手続き中であります。